

令和6年度第2回宇部市短期集中予防サービス（通所型C）検討委員会 議事録

日 時：令和6年7月19日（金）19時～20時30分

場 所：宇部市役所 3階 防災情報センター

出席者：委員14名、事務局6名

1 高齢福祉課長あいさつ

2 議事

報告1「短期集中予防サービス（通所型C）試行サービス事業者について（報告）」

〔委員〕：「報告1の資料の定員数から」モデル事業の実施人数は4事業所24名でよろしいか。

【事務局】：定員は、一回1単位の提供人数。モデル事業の実施者は30名で行う。4事業所は、なるべく偏りが無いよう実施していきたいと考えている。

〔委員〕：定員について、複数日提供があればモデル事業の30人が実施できる認識でよろしいか。

【事務局】：そのとおり。

報告2「今後のスケジュールについて」事務局から説明

〔委員〕：同行訪問の実施予定期間はどれくらいを想定しているか。

【事務局】：8月下旬から9月下旬までの1ヶ月程度予定している。

〔委員〕：利用者の選定から同行訪問の流れについて知りたい。

【事務局】：利用者の選定を8月上旬から始めて、同時に同行するリハビリテーション専門職の方の日程調整を行う。そこから同行訪問を随時行い、9月下旬までに同行訪問ができたと思う。

その後、短期集中予防サービス（通所型C）を利用されるのは、早い方は8月終わるか9月から11月の3か月間、10月に近づいて始められる方は12月までの3か月間の予定。

〔委員〕：同行訪問の研修会は、包括職員も参加可能か。

【事務局】：8月8日の同行訪問研修会、8月13日の事業者研修会は、包括職員も参加可能。

〔委員〕：リハビリテーション専門職で、同行訪問の研修会は参加するが、包括説明会や事業者研修会も参加可能か。

【事務局】：参加可能。7月24日の包括説明会は日中、8月13日の事業者研修会は夜の開催。包括説明会は後日資料を提供する。事業者研修会は改めて案内する。

〔委員〕：包括説明会は、外部講師がいるのか。この事業の総論の説明などがあるのではないかな。

【事務局】：市の職員で、主に事務フローの説明をする。リエイブルメントの考え方に関しては、昨年度外部講師も招いて何度か研修を行っている。

〔委員〕：包括としては、利用者にとどのように説明するかなどを先行自治体の包括職員の方にお話が聞けて理解出来たら、より実践的になるかと思う。

【事務局】：今後、講師の方を含めて検討する。

〔委員〕：同行訪問の結果によって、通所型Cが必要な人、必要でない人と別れると思うが、この30人はどの時点の人数を想定されているか。

【事務局】：この30人の設定は、通所型Cが必要な人数。同行訪問の結果対象外の方がいれば別の方を選定する。最終的に30人の方にこの事業を体験できたらと思う。

〔委員〕：事業者説明会を行うが、その後の通所型Cの実施経過を市職員や包括職員が確認される機会があるか。

【事務局】：予定している。実際のサービス提供の様子、プログラムの実施内容や利用者の感想を伺う予定。

議題1「介護予防手帳について」事務局から説明

〔委員〕：セルフマネジメントシートと卒業後のことを一つにまとめている自治体があるが、通所型Cを始める時から書く習慣をつけて、サービスが終了した後も活用する方が良いのではないか。

〔委員〕：通所型Cの面談の時から使用できる方が良い。同行訪問時のアセスメントの内容を利用者に提供してもよいのではないか。通所型Cを利用する前の段階で活用してもよいのではないか。

【事務局】：同行訪問の内容は、同行訪問報告書を通じてケアプランの内容に盛り込まれているので、利用者の方はケアプランで内容を見ることは出来る。

〔委員〕：同行訪問の時からあるのもいいと思うが、あくまでそれはアセスメント。サービスを実施する時がスタート時点と思うので、それから一緒に作っていくのがいいと思う。サービス終了後にこの手帳をどのように活用するか。日記のように残していければと考える。

【事務局】：今の想定では、サービス終了後から1年間は包括職員が見守りを行う。月1回電話や訪問を行い、3月に1回は訪問を実施。その方はサービスの利用はないが、1年間は見守りを続けていく。地域に戻られてすぐ活動が落ちることがないように、1年間を目安として介護予防手帳を活用していく。包括職員には、その間介護予防ケアマネジメントBの報酬を支払えるよう仕組みを作っていく。

〔委員〕：サービス終了後、介護予防手帳について、ただ渡して終わりではなく効果について検証できる機会があればよいのではないかな。

【事務局】：一年間手帳を使用した効果は、検証する方法を考えたい。

〔委員〕：今回、介護予防手帳を作成して見直し等はどのように考えているか。通所型Cの事業所や包括や利用者の方に、使ってから感想をもらい反映してはどうか。

【事務局】：先ほどお伝えした効果について検証し、実際に使われた方の感想が一番なので聞き取りを行い、見直しに反映していきたい。

〔委員〕：卒業後に介護予防手帳を使用する場合は、通所型Cの時はどうなるのかな。

【事務局】：今回の議題は、サービス終了後を想定しており、通所型Cを利用している間はセルフマネジメントシートを活用する。ある自治体は通所型C利用時から使用する手帳だが、宇部市がこれから介護予防手帳を作成するにあたっては、サービス提供時から使っていく考えでよろしいかな。モデル事業では、フラットファイルなど利用して途中でページの差し込みを行い、本格実施に向けて形にしていきたい。

議題1について、通所型Cの実施中から使用を始めサービス提供後も継続して使用していく案で承認。